

伊賀市 事務事業評価シート

ソフト事業

事業名	コード	名 称	会計	コード	名 称
1040	文化財保存経費	01	一般会計		
基本施策	36	歴史や文化を守り、未来へと引き継ぐ	10	教育費	
			05	社会教育費	
			02	文化財保護費	
担当部課名	教育委員会阿山分室		101	文化財保存経費	
作成者氏名	森本勝美	連絡先	43-0154	01	文化財保存経費

事業の計画・内容	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)					
事業の目的	大江羯鼓踊り保存会	市指定文化財である「羯鼓踊り」の練習、衣装・道具などの整備を図り、民俗芸能の保護ができ、後継者に継承ができます。					
本年度事業内容	民族芸能継承補助金（指定文化財「羯鼓踊り」継承補助金）						
開始年度	平成	年度	終了年度	平成	年度	根拠法令・要綱等	伊賀市教育委員会関係補助金等交付要綱

投入資源		H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員	正規職員 (人)	0.1	0.1	0.1
	人件費合計(A)	720	720	720
②支出内訳(千円)	事業費(B)	80	72	64
	委託料			
	負担金、補助及び交付金	0	72	64
	報償費	80		
	その他			
合計(A+B)		800	792	784
③財源内訳(千円)	特定財源			
	国県支出金			
	地方債			
	受益者負担			
	その他特財			
一般財源		800	792	784
上記①～③に関する特記事項				
H17年度は、報償費として予算計上				

事業実績							
活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
羯鼓踊り披露(年間)	回	1	1	1			
羯鼓踊り練習	回	9	9	9			

評価指標		事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
		羯鼓踊り練習参加者数	練習会への参加者数が保存・継承の指標としました。	人	256 目標 ()	270	270
					目標 ()		

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

少子化のなか後継者不足を解消するため、練習等における経済的な支援も不可欠と思われますが、人的な支援も今後検討が必要です。

評価	必要性	4	伝統芸能については、それぞれの地域の伝統、しきたり等があり、市指定文化財として保存、継承してもらうため、地元の保存会へ助成することに努めることが保存、継承に寄与します。	総合評価	A
	有効性	3			
	達成度	4			
	効率性	4			